

仙台市ウェブアクセシビリティガイドライン

JIS X 8341-3 : 2016 対応版

修正履歴

- ・平成 26 年 4 月 17 日 初版の作成
- ・平成 28 年 4 月 22 日 修正
 - NOREN CS のアップデートによる参照マニュアル名の修正
 - ・ 4-1, 4-5-1, 4-6, 4-9, 4-11
- ・平成 28 年 10 月 1 日 修正
 - JIS の改正に伴う参照 JIS 規格名及び JIS 規格項番の修正
 - 総務省策定のガイドライン名の修正
 - ホームページリニューアルに伴う参考画像の修正
 - CMS のリニューアルに伴う参照マニュアルの修正
- ・令和 2 年 11 月 10 日 修正
 - CMS マニュアル参照ページ番号の修正

目次

1. ガイドラインの目的.....	3
2. ウェブアクセシビリティとは.....	3
3. ガイドラインの使い方.....	4
4. 具体的なホームページ作成の際の注意点.....	5
4-1 文書の構造化を図る（JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.6 AA）.....	5
4-2 表を利用したレイアウト調整の禁止（JIS X 8341-3 : 2016→ 2.4.3 A）.....	7
4-3 ファイル添付のみのページを作成しない（JIS X 8341-3 : 2016 → 1.1.1 A）.....	8
4-4 ページタイトルは内容が予測しやすく、他ページと識別できるもの（JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.2 A）.....	9
4-5 表を作成する際の注意点.....	10
4-5-1 タイトル、項目、内容表示（JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.1 A）.....	10
4-5-2 表の読み上げ順序（JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.3 A）.....	11
4-6 新しいウィンドウを開く際のルール（JIS X 8341-3 : 2016 → 3.2.1 A）..	12
4-7 リンク設定上のルール（JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.4. A）.....	13
4-8 パンくずナビゲーションの使用とルール（JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.8 AAA）.....	14

4-9 画像の代替テキスト (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.1.1 A)	15
4-10 色や形だけで情報を区別しない	16
4-10-1 色だけで情報を区別しないこと (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.4.1 A) ...	16
4-10-2 色、形、位置だけでなく、文字でも識別できる配慮 (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.3 A)	17
4-11 文字サイズや書体指定の禁止 (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.4.4 AA)	18
4-12 機種依存文字の使用禁止 (JIS X 8341-3 : 2016 → 4.1.1 A)	20
4-13 書式のルール (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.2 A)	21
4-14 変化・移動する画像や文字の禁止 (JIS X 8341-3 : 2016 → 2.3.1 A) ...	22
4-15 位置調整目的のスペースの禁止 (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.2 A)	22

1. ガイドラインの目的

このガイドラインは、仙台市のウェブアクセシビリティ方針を達成するために、最低限守ってほしい要件をわかりやすくまとめたものです。主にウェブアクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016（以下、JIS と記載）に基づいて記載しています。

ホームページ全体のアクセシビリティを向上させるために、このガイドラインの記載を守るように徹底してください。

2. ウェブアクセシビリティとは

ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることを意味します。（総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016 年度版）より」）

JIS が平成 28 年に改正公示され、同年に定められた総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016 年度版）」により、地方公共団体等の公的機関に対し JIS に対応したホームページとするための取組みが求められています。

（参考）

- ・ 総務省ホームページ みんなの公共サイト運用ガイドライン
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html
- ・ 日本工業規格調査会ホームページ
<https://www.jisc.go.jp/>

3. ガイドラインの使い方

4-2 表を利用したレイアウト調整の禁止 (JIS X 8341-3:2016→ 2.4.3 A)

○ルール

- 表などを利用した、画像や文章などの位置調整（レイアウト調整）は行わない。

○ポイント

- 音声読み上げソフトを利用している目の不自由な方には、コンテンツの作成者の意図せぬ順番で読み上げが行われ、内容が正しく伝わらない場合がある。表ではなく、見出しを設定し、構造化することで読み上げ順序が正しく読み上げられる。

(悪い例)

日時	①	行程	②
○年○月○日	③	○～○	④
場所	⑤	出席者	⑥
○○	⑦	○○	⑧

※表でレイアウトを作成している。この場合、読み上げの順番は ①⇒②・・・⇒⑧という順番となり、目の不自由な方には意味の通じないページとなる。

(良い例)

1.日時

○年○月○日

2.場所

○○

3.行程

○～○

4.出席者

○○

※表ではなく、見出しの設定をすることで読み上げ順序が正しく読み上げられる。

日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 との対応関係

※2.4.3 などの番号は、JIS X 8341-3 の項目番号を示します。

※A, AA, AAA は JIS の達成等級を示しています。

ルール

基本となるルールの解説を示しています。

ポイント

なぜそのようなルールが必要なのか、どのように改善すべきかを示しています。

悪い例・良い例

悪い例・良い例をサンプル付きで表示し、対比させることでわかりやすく解説しています。

4. 具体的なホームページ作成の際の注意点

4-1 文書の構造化を図る（JIS X 8341-3：2016 → 2.4.6 AA）

○ルール

- ・ 見出し、段落、リストマーク等の要素は、文字装飾（太字・斜字等）や改行、スペース、「・」などを用いて行うのではなく、専用の文法（見出し指定、段落、リストタグの指定）を守って行う。

○ポイント

- ・ 音声ブラウザでは、例えば見出しの部分と本文の部分とを区別して読み上げることができる。しかし、文字装飾だけで、見出しのように見せてしまうと、音声ブラウザでは見出しと本文の区別がつかなくなる。
- ・ このように装飾ではなく、文法を守ってホームページを作ることを構造化という。
- ・ 構造化は、音声ブラウザ対応だけでなく、検索サイトへの登録にも役立つ。（検索サイトのキーワード登録システムは本文と見出しにあるキーワードの重要度を区別する。）

（悪い例）

いいね ツイート LINEで送る 更新日：2016年9月28日

定例会見（第20回仙台国際ハーフマラソン大会／主な有力選手一覧(資料2)）

【男子】実業団／招待選手

① 【主な有力選手一覧（男子 実業団／招待選手）】

- 国内特別招待（左から氏名、所属クラブ名、主な記録）
 - ・ Mekubo Job Mogusu（メクボ・ジョブ・モグス）、アイデム、2007丸亀国際ハーフ／1位／59分48秒
- 実業団招待（左から氏名、所属クラブ名、主な記録）
 - ・ 井手 貴教（イデ タカノリ）、九電工、2010延岡西日本マラソン／3位／2時間14分11秒
 - ・ 田上 貴之（タガミ タカユキ）、九電工、2005立川ハーフ／1位／1時間02分39秒
 - ・ 国近 友昭（クニチカ トモアキ）、エスピー食品、2003福岡国際マラソン／1位／2時間07分52秒（※日本歴代6位）※2004アテネ五輪男子マラソン代表
 - ・ 上岡 宏次（ウエオカ コウジ）、エスピー食品、2009東京マラソン／2時間15分03秒

②

① テキスト文書のみで構成されており、見出しを設定していない

② リストテンプレートを使用していない

(良い例)

Twitter ツイート 更新日：2016年9月20日

定例会見 (第20回仙台国際ハーフマラソン大会／主な有力選手一覧(資料2))

【男子】実業団／招待選手

① 主な有力選手一覧 (男子 実業団／招待選手)

- 国内特別招待 (左から氏名、所属クラブ名、主な記録)
 - Mekubo Job Mogusu (メクボ・ジョブ・モグス)、アイデム、2007丸亀国際ハーフ／1位／59分48秒
- 実業団招待 (左から氏名、所属クラブ名、主な記録)
 - 井手 貴教 (イデ タカノリ)、九電工、2010延岡西日本マラソン／3位／2時間14分11秒
 - 田上 貴之 (タガミ タカユキ)、九電工、2005立川ハーフ／1位／1時間02分39秒

① 見出しテンプレートを使用して、見出しを設定している。

② リストテンプレートを使用して、リスト化している。

※CMS での見出し、リストテンプレートの使用方法は、「CMS-8341/やさしい操作研修テキスト (作成者)」P31～P33 をご確認ください。

4-2 表を利用したレイアウト調整の禁止（JIS X 8341-3：2016→ 2.4.3 A）

○ルール

- ・ 表などを利用した、画像や文章などの位置調整（レイアウト調整）は行わない。

○ポイント

- ・ 音声読み上げソフトを利用している目の不自由な方には、コンテンツの作成者の意図せぬ順番で読み上げが行われ、内容が正しく伝わらない場合がある。表ではなく、見出しを設定し、構造化することで読み上げ順序が正しく読み上げられる。

（悪い例）

日時	①	行程	②
○年○月○日	③	○～○	④
場所	⑤	出席者	⑥
○○	⑦	○○	⑧

※表でレイアウトを作成している。この場合、読み上げの順番は ①⇒②・・・⇒⑧という順番となり、目の不自由な方には意味の通じないページとなる。

（良い例）

1.日時

○年○月○日

2.場所

○○

3.行程

○～○

4.出席者

○○

※表ではなく、見出しの設定をすることで読み上げ順序が正しく読み上げられる。

4-3 ファイル添付のみのページを作成しない(JIS X 8341-3:2016 → 1.1.1 A)

○ルール

- ・ テキストによる説明をせずに、ファイル添付のみでページを作成しない。
- ・ PDF ファイルは、アクセシビリティに配慮した PDF 形式で制作する。コピー機などからスキャナで読み込んだ PDF ファイルは、読み上げソフトで対応できないため使用しない。

○ポイント

- ・ 例えば、チラシ（紙）を PDF 化するとき、元データを取り寄せるなどして、WORD などから作成する PDF ファイルを使用すること。

（悪い例）



※本文に説明がなく、添付ファイルのみのページとなっている。

（良い例）



※本文に説明文が入っており、添付ファイルの案内もわかりやすい。

4-4 ページタイトルは内容が予測しやすく、他ページと識別できるもの (JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.2 A)

○ルール

- ・ ページタイトルは、それぞれページの内容を把握できるタイトルをつける。同じページタイトルにならないようにする。

○ポイント

- ・ ページタイトルは、タイトルバーの表示 (①)、「お気に入り」の表示 (②)、検索サイトの結果表示に使われる。また、音声読み上げ機能のユーザーは、最初に読み上げられるページタイトルでページの内容を把握する。
- ・ ページタイトルの内容が不適切な場合、ページ本文の読み上げで判断しなければならず、ページ内容を把握するのに時間がかかる。また、飾り文字などを使用すると、音声読み上げソフトでは正しく読み上げられない場合があるので使用しない。



入力したタイトルが反映される場所

(悪い例)

- ・ ○○の計画について ←ページの内容が推測しにくい

(良い例)

- ・ ○○の計画が変更になりました ←ページの内容が容易に推測できる、わかりやすい表題を付与した例

※CMS では、「タイトル」は必須項目です。

4-5 表を作成する際の注意点

4-5-1 タイトル、項目、内容表示 (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.1 A)

○ルール

- ・ セル数の多い大きな表はなるべく使用しない。
- ・ 行/列の項目は、セルごとに項目指定を行う。
- ・ セルの結合は必要最低限とし、複雑に入り組んだ表にしないようにする。
- ・ 表には表題・見出しを設定すること。
- ・ 数値を表示するときは、視覚的に煩雑にならない範囲で各セルに単位を記述する。

○ポイント

- ・ 各セルに数値しか記述されていないと、音声ブラウザの利用者は各セルの数値の意味を把握しにくい。各セルに単位まで記述すること。

(悪い例)

品種・等級	容量 (キログラム)	価格 (円)
りんご (ふじ特上)	10	8,000
りんご (ふじ特上)	8	5,000
りんご (ふじ並み)	5	3,000
りんご (ふじ並み)	3	2,000

※各セルに数値しか記述されておらず、音声ブラウザの利用者は各セルの数値の意味を把握しにくい。

(良い例)

りんごセット価格一覧		
品種・等級	容量 (キログラム)	価格 (円)
りんご (ふじ特上)	10kg	8,000 円
りんご (ふじ特上)	8kg	5,000 円
りんご (ふじ並み)	5kg	3,000 円
りんご (ふじ並み)	3kg	2,000 円

表題を明記 (具体的に) 行・列の見出しを指定

※各セルに、単位まで記述しているため、音声ブラウザの利用者は各セルの数値の意味を把握しやすい。

※CMS での表の作成方法は、「CMS-8341/やさしい操作研修テキスト (作成者)」P42～P45 をご確認ください。

4-5-2 表の読み上げ順序 (JIS X 8341-3 : 2016 → 2.4.3 A)

○ルール

- ・ 表は一番上の「行」から、「行」ごとに左から右方向に読み上げられる。このように読み上げられた際に意味が伝わりやすいよう表を作成する。

○ポイント

- ・ 下記の表の読み上げ順序を参考に、表を作成する。
- ・ 複雑な表はできるだけ避けるようにする。複数の表に分けて表現することができないか、配慮が必要。
- ・ 複数の表に分けることでセルの結合を減らすようにすると、より良い。

(悪い例)

テレビ A ①	テレビ B ②	テレビ C ③
40 インチ ④	50 インチ ⑤	60 インチ ⑥
液晶 ⑦		プラズマ ⑧
〇〇万円 ⑨	〇〇万円 ⑩	〇〇万円 ⑪

※音声ブラウザを使用すると、①～⑪の順に読み上げられる。表の構造上、縦方向に読み上げてほしいのに、横方向に読み上げられてしまう。読み上げ順序と情報の方向が一致しないため、音声ブラウザの利用者は内容を把握しにくい。

(良い例)

テレビ比較一覧表

	大きさ	種類	金額 (円)
テレビ A	40 インチ	液晶	〇〇万円
テレビ B	50 インチ	液晶	〇〇万円
テレビ C	60 インチ	プラズマ	〇〇万円

※横に読み上げられることを意識して、表を作成すること。また、表に見出しを設定することで正しく読み上げられるようになる。

4-6 新しいウィンドウを開く際のルール(JIS X 8341-3:2016 → 3.2.1 A)

○ルール

- ・ 新しいウィンドウを開いて表示させるページへのリンクは、利用者に「このリンクは、別ウィンドウで開きます」と明示しておく必要がある。何も知らずに新しいウィンドウが開いた場合、利用者はブラウザの戻るボタンでは前ページに戻れなくなり、アクセシビリティに影響する。
- ・ 2つのページを同時に開いて情報提供する方が適している場合のように、例外的に新しいウィンドウで開く方がよい場合もある。

○ポイント

- ・ 新しいウィンドウでリンクを開く場合は、リンクを設定している文字・画像の前か後に、「別ウィンドウで開きます」と表示させる。
- ・ 自動で新しいページに移動しないようにする。

(悪い例)

[〇〇委員会ホームページ](#)

※別ウィンドウで開く記載がなく、別ウィンドウが開いたのに気付かない利用者もいて、元のページに戻るにも「戻る」ボタンでは戻れません。

(良い例)

[〇〇委員会ホームページ\(別ウィンドウで開きます。\)](#)

※別ウィンドウで開く設定を行った場合は、必ず別ウィンドウで開くことを利用者にお知らせします。

※CMS でのリンク先を別ウィンドウで開く設定方法は、「CMS-8341/やさしい操作研修テキスト（作成者）」P35 をご確認ください。

4-7 リンク設定上のルール（JIS X 8341-3：2016 → 2.4.4. A）

○ルール

- ・ リンクは、リンク先の内容が予測できる文字をリンクとするようにする。
- ・ 「リンク」、「ここ」、「こちら」、「クリック」、「Click Here！」などリンク先の内容が予測できない表現はさける。

○ポイント

- ・ 音声読み上げソフトの中には、リンクだけを読み上げる機能を有しているものもある。したがって、リンクには「リンク」、「こちら」などといったものではなく、リンク先の内容を予測できるものを設定する必要がある。またリンクを貼った部分が長すぎると逆に利用者がリンク先の内容を理解するのに時間がかかってしまうので、リンク先の内容を予測しやすい適切な部分にリンクを設定する。

（悪い例） リンク先を予測できない例	（良い例） リンク先を予測できる例
防災に関する情報は こちら 台風に関する情報は こちら	防災に関する情報はこちら 台風に関する情報はこちら

※リンク箇所のテキストを読んだだけで、利用者がリンク先の内容を予測できる表現を用いること。

（悪い例） 長い文章にリンクを設定している例	（良い例） 長い文章の中から、リンク先の内容を予測できる部分にリンク先を設定している例
仙台の観光情報はこちらから 仙台旅日和「観る」「食べる」「泊まる」「買う」などの情報が盛りだくさん！	仙台の観光情報はこちらから 仙台旅日和「観る」「食べる」「泊まる」「買う」などの情報が盛りだくさん！

4-8 パンくずナビゲーションの使用とルール(JIS X 8341-3:2016 → 2.4.8. AAA)

○ルール

- ・ 現在位置を示す情報として「パンくずナビゲーション」を全ページに表示する。
- ・ パンくずナビゲーションは、原則としてトップページをスタート位置として表示させる。

○ポイント

- ・ パンくずナビゲーションやサイトマップなどを用いると、現在位置やサイトの構成を把握しやすくなるため、高齢者、障害のある人をはじめとして利用する際に、現在位置を見失わずにすむ。

パンくずナビゲーション



4-9 画像の代替テキスト (JIS X 8341-3 : 2016 → 1.1.1 A)

○ルール

- ・ 代替テキストとは、目の不自由な方が読み上げソフトを利用した際に、画像の代わりに読み上げられるテキストとなる。また、画像が正しく表示されない場合などに表示されるテキストとなる。代替テキストは、どんな利用者にも画像の内容が正しく伝わるよう、設定する。
- ・ ただし、意味のない画像の代替テキストは「 (空白)」を設定すること。
- ・ 文字を画像化しようとするときは、装飾のために画像化した方が適切である場合か、あるいは文字の形が重要な商標の表示やパソコンで表示できない文字等、形を守る必要がある場合に限定する。

○ポイント

- ・ 代替テキストは、画像が見えない方にも意味が通じるように、「写真」だけでなく、「〇〇の写真」というように、具体的に記述すること。

(悪い例)



画像が見えない場合、「写真」だけでは、どのようなイメージがあるのか想像できない。

(良い例)



画像が見えなくても、「青葉まつりの写真」と、どのようなイメージがあるのかある程度わかる。

※CMS での画像の挿入および代替テキストの設定方法は、「CMS-8341/やさしい操作研修テキスト (作成者)」P46～P49 をご確認ください。

4-10 色や形だけで情報を区別しない

4-10-1 色だけで情報を区別しないこと (JIS X 8341-3:2016 → 1.4.1 A)

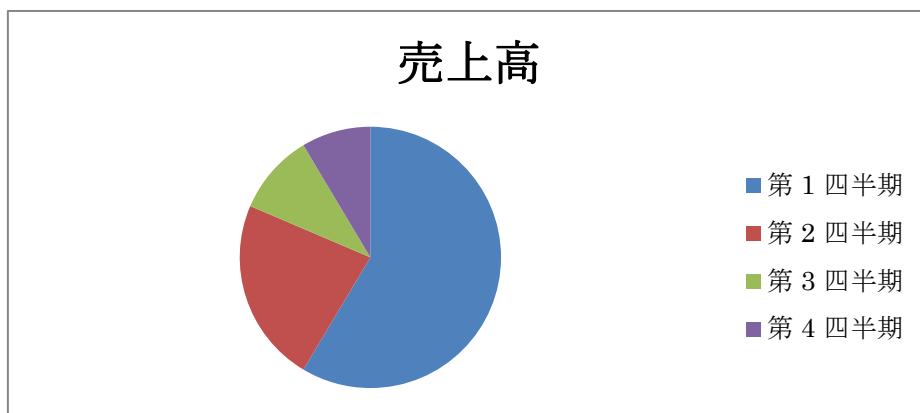
○ルール

- ・ 情報の識別や指示は、色だけでなく文字等でもわかるようにする。
- ・ 色だけを使用せずに、文字やパターン（模様）などを併用するなど心がける。

○ポイント

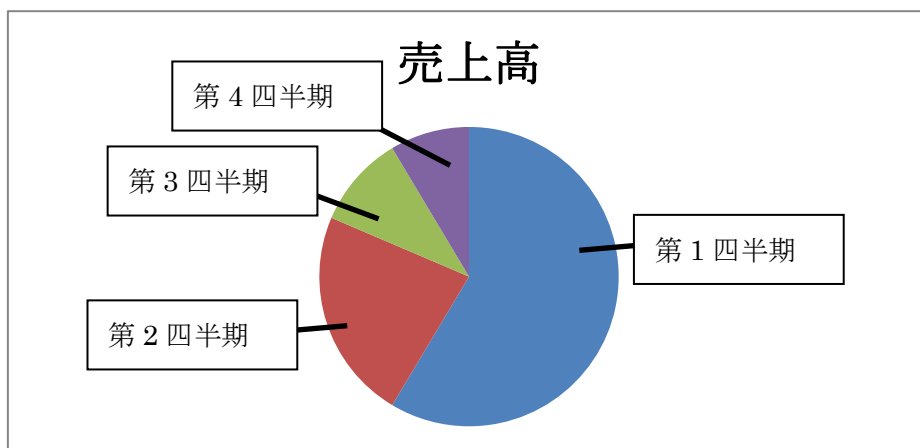
- ・ 色だけで円グラフなどの領域を表現すると、色覚障がい者の方が色の違いを区別しにくい。
- ・ グラフに引き出し線を表示することで、色覚障がい者の方にもわかりやすくなる。

（悪い例）



※色だけで円グラフの領域を表現すると、色覚障がい者の方が色の違いを区別しにくい

（良い例）



※引き出し線を表示することで、色覚障がい者の方が色の違いを区別しやすい

4-10-2 色、形、位置だけでなく、文字でも識別できる配慮（JIS X 8341-3 : 2016 → 1.3.3 A)

○ルール

- ・ 情報の表示や識別について、色、形、位置だけで表現することは避ける。テキストの文字などを併用し、画面上の表示に関係なく内容を把握できるように配慮する。

○ポイント

- ・ 下記の例のように、色を指定した表現は色覚障がい者の方が判別しにくいため、具体的にテキスト文字を使用した指示表現とする。

（悪い例）

※赤字部分が変更点です。

1. 日時 平成 26 年 4 月 20 日（日曜）15 時
2. 場所 ○○センター3 階

※画面上の色などに依存した指示表現はしないでください

（良い例）

※変更点は、1. 日時の時間と、2. 場所の階数です。

1. 日時 平成 26 年 4 月 20 日（日曜）15 時
2. 場所 ○○センター3 階

※テキストの文字などを併用した指示表現を使用してください

4-11 文字サイズや書体指定の禁止（JIS X 8341-3：2016 → 1.4.4 AA）

○ルール

- ・ 文字の大きさや文字の種類（明朝やゴシックなどの書体）は指定しない。

○ポイント

- ・ 文字の大きさを指定すると、ブラウザの大きさを変更できるボタンで文字の大きさを変更しようとしても変更しない。また、文字の種類を指定すると、機種によっては文字化けする可能性がある。

（良い例）

入力時に文字サイズを固定しないと、公開画面で文字サイズを大きくした場合に全体の文字が大きくなる。



↓（文字の大きさボタンで文字の大きさを変更した場合）

文字の大きさボタンで大きさを
変更できる



文字の大きさが大きくなる

4-12 機種依存文字の使用禁止 (JIS X 8341-3 : 2016 → 4.1.1 A)

○ルール

- ・ 機種依存文字とは、特定の PC ソフトでしか正しく表示されない文字のこと。
- ・ 下記の機種依存文字は PC・ソフトによっては正しく表示されない場合があるので、使用しないように注意する。

【入力禁止の文字・記号】

以下の文字・記号は使用できません。

丸付き数字 (①②③…) ローマ数字 (ⅠⅡⅢ…)

また、JIS X 0208 (情報交換用漢文字符号系) で規定されている文字を使用してください。

規定されていない以下の特殊文字、記号等は使用禁止です。

ミリ キロ セン トン グラム トン ヘルツ ヘルツ コロ ドル セン ゼン ギ ヌー mm cm km mg kg cc m² 平成 No.

Kk Tel ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 等

○ポイント

- ・ 機種依存文字の一般的な置き換えのルールは、以下の通り。

①、②など	→	「【1】、【2】」と表示、または「A, b, c」「あ、い、う」などに置き換える
(1)、(2)、(株)、平成、昭和 など ※1文字で表示される記号	→	「(」「1」「)」、「(」「株」「)」、平成、昭和など一文字ごとに分けて入力する
ローマ数字 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅴなど)	→	1, 2, 5 などと表示、またはアルファベットの大文字などを組み合わせて表示する (Ⅳ→「ⅠⅠ」「ⅤⅠ」)
単位記号 (kg、cm など)	→	アルファベットの小文字を組み合わせて表示する kg→「k」「g」 cm→「c」「m」
単位記号 (m ²)	→	「平方メートル」など日本語に置き換えて表示
単位記号 (ミリ、キロ、センチ)	→	「ミリ」「キロ」「パーセント」と一文字ごとに記述する
Tel など ※1文字で表示される記号	→	日本語に置き換えて表示 「電話番号」など

4-13 書式のルール（JIS X 8341-3：2016 → 1.3.2 A）

○ルール

- ・ 音声読み上げの際に正しく読み上げられないため、日付、時刻、電話番号、数値は、統一書式で表記する。

【統一書式】

種類	書式	備考
日付	平成 28 年 10 月 1 日 または 2016 年 10 月 1 日	悪い例 2016/10/1 や 2016.10.1 同一ページ内で和暦と西暦を混在させないこと
曜日	（月曜日）（火曜日） または （月曜）（火曜）	（月）（火）では正しく読み上げられないため、左の表記とすること。（（月）は、「かっこ つき かっこ」と読み上げられる）
数値	1,234 0.123	必要に応じ 3 桁区切り「,」小数点「.」を使用すること。 数値は半角数字で統一する。
時間	正午、午後 3 時 30 分、 15 時 30 分	悪い例 10:30 や 0:00 15:30 午前、午後、正午の表記を使用する、または 24 時間表記とすること
記号	装飾のために用いる記号など （悪い例：～お知らせ～）	記号「～」を装飾目的で使用すると、正しく読み上げられないため、使用しないこと。 （「から おしらせ から」と読み上げられる）

4-14 変化・移動する画像や文字の禁止 (JIS X 8341-3:2016 → 2.3.1 A)

○ルール

- ・ 変化や移動する画像、テキスト等は使わない。
- ・ 画像に表示される内容は点滅させない。
- ・ GIF アニメや、点滅・移動するテキストは使用しない。

○ポイント

- ・ 移動するテキストを使用すると、利用者によっては読み取れなかったり、読みにくい場合がある
- ・ 利用者の注意を促すために点滅を利用することがあるが、早い周期での点滅はてんかん発作を引き起こすなどの危険がある。(部分的な点滅であっても拡大して表示している利用者がいる場合がある)

4-15 位置調整目的のスペースの禁止 (JIS X 8341-3:2016 → 1.3.2 A)

○ルール

- ・ 単語の文字の間にはスペースや改行を入れない。
- ・ 特に氏名入力の際には注意すること。

○ポイント

- ・ 音声読み上げの際に、正しく読み上げられない可能性がある。また、利用者の閲覧するブラウザの幅によっては、コンテンツの作成者の意図しないレイアウト崩れなどを招く。

(悪い例)

単語内にスペースを入れている。音声読み上げソフトで読み上げた際に、情報が正しく伝わらない。

「電 話」 → 「でん はなし」(読み上げ)

「住 所」 → 「じゅう ところ」(読み上げ)

「菊 池」 → 「きく いけ」(読み上げ)

(良い例)

単語内にスペースがない。音声読み上げソフトで読み上げた際に、情報が正しく伝わる

「電話」 → 「でんわ」(読み上げ)

「住所」 → 「じゅうしょ」(読み上げ)

「菊池」 → 「きくち」(読み上げ)